

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成25年12月2日（月）～12月8日（日）〔平成25年第49週〕の感染症発生状況

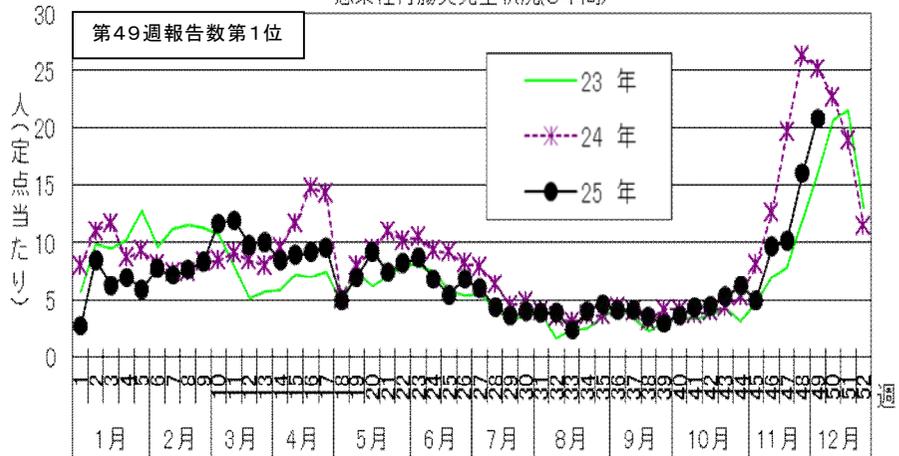
第49週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 水痘 でした。

感染性胃腸炎は定点当たり20.76人と前週（16.06）より患者報告数は急増しており、今後の更なる増加に注意が必要です。

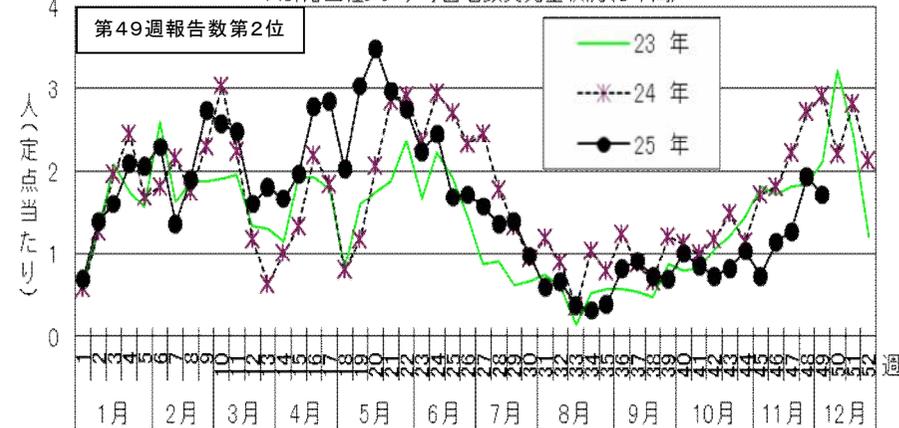
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.73人と前週（1.94）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。

水痘は定点当たり1.52人と前週（1.42）より患者報告数はわずかに増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



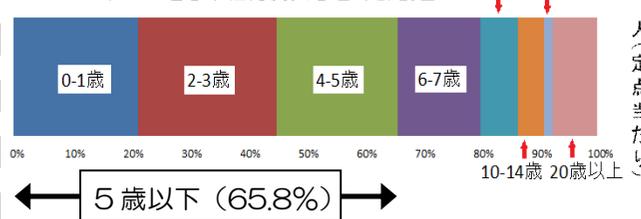
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



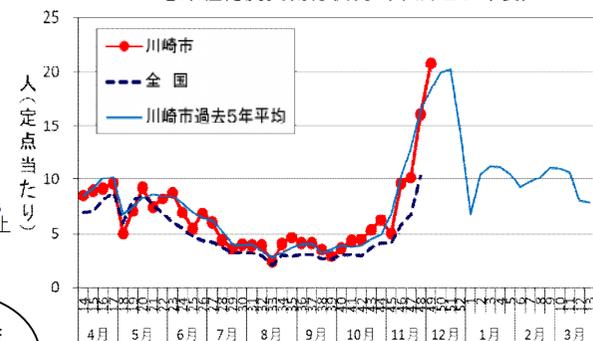
『感染性胃腸炎』流行発生警報発令！！

川崎市では、第49週の感染性胃腸炎患者報告数が定点当たり20.76人となり、国で定める警報基準値（定点当たり20人）を超えたため、**感染性胃腸炎の流行発生警報を発令**しました。今後患者がさらに増える可能性がありますので、注意が必要です。

第49週感染性胃腸炎患者年齢割合



感染性胃腸炎流行状況（平成25年度）



乳幼児の患者が多く、5歳以下が全体の約7割を占めています。
保育園や幼稚園などでは、手洗いの徹底、便やおう吐物の処理などに特に気をつけましょう。

※インフルエンザにもご注意を！

中原区内の市立小学校において、インフルエンザ様症状の患者が13名発生し、12月11日に今シーズン市内で初めての学級閉鎖が実施されました。

インフルエンザ患者報告数は、現在全国的に増加傾向にありますので、引き続き予防対策を徹底してください。